

農林水産省
農産局長賞

未利用資源「堆肥、再生リン」を活用した 新規エコ肥料の開発および資源循環の構築

全国農業協同組合連合会 福岡県本部・福岡市

肥料製造

原料供給

肥料利用

下水汚泥

畜ふん

県内未利用資源を活用した新規肥料の開発・流通による、県内循環モデルの構築

団体紹介

団体名：① 全国農業協同組合連合会 福岡県本部 ② 福岡市
所在地：福岡県福岡市
団体の主な活動：① 肥料の企画・開発、販売普及 ② 肥料原料（再生リン）の製造、販売普及
ウェブサイト：① <https://zennoh-fukuren.jp/> ② <https://www.city.fukuoka.lg.jp/>

取組概要

■ 背景・目的

散布量の減少により、その循環が課題となっていたJAの堆肥と、福岡市が下水処理過程で回収する再生リンを使用した新たな肥料の開発流通により、輸入に依存しない肥料資源の安定調達を目指し、県内広域循環モデルの構築をすること。

■ 取組内容・ポイント・効果

原料とするバイオマス	家畜堆肥（牛ふん堆肥、豚ふん堆肥）、再生リン
肥料原料として供給する年間量 / 年間発生量	堆肥：506t / 年、再生リン：84t / 年

①全国初! JAグループの堆肥と下水汚泥より回収した再生リンを混合した肥料を開発・販売

非常に多くの肥料成分が含まれており、安価だが品質のバラツキや臭気などの要因により、肥料原料としての使用が敬遠されていた家畜堆肥と、博多湾の環境保全のために回収した再生リンを配合した肥料「e・green（イーグリーン）」を、全国で初めて開発・販売した。短粒ペレット状に加工することで施肥しやすく（ハンドリングの向上）、植物が吸収しやすく（肥効の改善）、有機物と化成肥料を一回施肥できる（施肥労力の低減）など、機能面で優れている。併せて未利用資源を使用するため安価である。

②県内循環モデルを構築し、オールWIN

「e・green」の製造から販売において、その過程の全てを福岡県内で行い、県内での循環モデルを構築した。具体的には、県内で製造された堆肥、再生リンを県内肥料工場（北九州市門司区）で製品化し、他の通常の肥料とともに従来の流通にのせて県内JAに販売している。上記を包括した県内での経済循環により、福岡市は「再生リンの安定した需要の確保」、消費者は「地産地消の農作物の消費」、JAグループは「輸入に頼らない肥料原料の確保・肥料の低コスト化」、「畜産現場における余剰堆肥の有効活用」、生産者は「低コスト肥料の使用」といった形で、全ての関係者でメリットがある循環の関係性を構築できた。

主な銘柄



県内循環モデル

県内の循環型モデルを構築

▶オールWINを構築

